(ID　0　) ☆7

治療計画書

療法名　sLV-5FU2+アービタックス　療法　1サイクル 2 週

疾患名　治癒切除不能の進行・再発結腸・直腸がん

注射 / 内服 / 放射線	Rp	商品名 / 照射部位	用量(/回) / 用量(/日) / 照射量	投与ルート / 用法	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
						1							2							3							4						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
注射	1	生理食塩液	20 ml	CVCポート	ルートフラッシュ	●							●							●							●						
注射	2	グラニセトロン	3 mg	点滴	30分	●														●													
		デキサート	6.6 mg																														
注射	3	デキサート	6.6 mg	点滴	30分																												
		生理食塩液	100 ml										●														●						
注射	4	生理食塩液	50 ml	点滴	15分	●							●							●							●						
注射	5	アービタックス≪初回≫	400 mg/㎡	点滴	2時間	●							●							●							●						
		生理食塩液	500 ml	全量500mlに調製																													
		アービタックス≪2回目以降≫	250 mg/㎡	点滴	1時間																												
		生理食塩液	250 ml	全量250mlに調製																													
注射	6	生理食塩液	100 ml	点滴	1時間	●							●							●							●						
					2回目以降																												
					30分可																												
注射	7	レボホリナート	200 mg/㎡	点滴	2時間	●														●													
		生理食塩液	200 ml																														
注射	8	5-FU	400 mg/㎡	点滴	全開	●														●													
		生理食塩液	50 ml																														
注射	9	生理食塩液	50 ml	点滴	15分	●														●													
注射	10	5-FU	2400 mg/㎡	持続注入用ポンプ	46時間	●	●	●												●	●	●											
		生理食塩液	100 ml	全量100mlに調製																													
注射	11	ヘパリンNaロックシリンジ	100 IU	CVCポート				●					●									●					●						
内服	1	レスタミン	50 mg	アービタックス投与30-60分前		●							●							●							●						
内服	2																																
放射線			Gy																														

特記事項

アービタックス
・至適濃度：0.83mg/ml～4mg/ml
・治療開始前、治療中、終了後に電解質(Mg、K、Ca)のモニタリングを行う。
・皮膚障害対策は「適正使用ガイド」を参照
・infusion reactionを発現することがあるため，アービタックス投与中及び投与終了後は少なくとも1時間は観察期間（バイタルサインをモニターするなど）を設けること。
※詳細は添付文書参照

減量規定

薬品名	アービタックス※	レボホリナート	5－FU（急速）	5－FU（持続）	
標準投与量	250 mg/㎡	200 mg/㎡	400 mg/㎡	2400 mg/㎡	
1段階減量	200 mg/㎡	減量なし	300 mg/㎡	2000 mg/㎡	
2段階減量	150 mg/㎡		200 mg/㎡	1600 mg/㎡	
3段階減量	中止				